

(様式3)

事業所名 グループホームすずらん湯沢

## 目標達成計画

作成日 平成 23 年 3 月 11 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	前回評価結果を受け、地域とのつながりを意識して法人理念を見直しているが、内容が重複しているため、法人理念を具体化した事業所理念とするなど、職員はもちろん家族も理解しやすいよう整理してほしい。	法人理念を基に、事業所独自に年度ごとに目標を決め、分かりやすく整理したものを家族へ提示する。	社内研修で理念の再確認、それに基づき新年度の目標を決める。決まった目標を家族に分かりやすいよう整理して、すずらん便りに載せ周知をはかる。	1ヶ月
2	2	日常的な地域交流は難しいと認識しているが、事業所玄関内の自動販売機を玄関外に置いたところ、近隣の方が買いに来ているため、ベンチやテーブルを置いて交流スペースにするなど、気軽に立ち寄れるような環境づくりに努めながら交流の拡大につなげてほしい。	近隣の方々が、気軽に立ち寄れるような、環境を作る。	自動販売機近くにベンチの設置。又玄関の空間が広い事から、テーブル等置きその場でくつろいでいただける様な環境にする。	0ヶ月
3	11	系列事業所との人事異動を踏まえ、法人として有資格者の人材確保や育成・研修に関する方針・ビジョンを明確にし、サービスの質の確保に努めてほしい。	サービスの質の向上に努める。	有資格者の人材確保に努める。 系列事業者合同の新任研修、社内研修を行いサービスの質の向上に繋げる。	2ヶ月
4	33	利用者の重度化に伴い家族が看取り希望するケースも考えられるため、事業所の方針や家族の同意書等を書面で整備するとともに、応急手当の知識等体制づくりに努めてほしい。	現段階では当ホームで看取りを行う整備がされていないことを書面に記載し、そのことを家族が理解のうえ同意できるような十分な説明を行う。	事業所の方針内容を、書面にする。 社内外の研修にて知識を得てもらう。	3ヶ月

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
5	6	車イス利用者の安全移乗について、やむを得ない場合は家族に状況を説明のうえ同意を得ているが、書面で同意を得るなど記録として残すよう整備してほしい。 また、顔馴染みの近隣住民以外にも見守りを働きかけ、地域全体で利用者の生活を支える体制づくりに努めてほしい。	安全移乗については同意書を作成し、家族が十分に理解したうえで同意ができるような説明を行っていく。 地域の方々の理解を得て、利用者の生活を支える体制づくりに努める。	同意書の作成を行う。 家族への十分な説明を行い、理解していただいたうえで同意をいただく。 町内会の総会に参加し地域の方々に協力をお願いする。	2ヶ月
6	10	前回評価で課題としている家族会についても働きかけているが、全体的に家族の理解と関わりが乏しいため、すべて事業所に任せるのではなく、家族の協力を得ながら利用者の生活を支えていくことの必要性を伝えながら、今後の取り組みにつなげてほしい。	県外に生まれおられる家族も多いことから、連絡を密にし、出来るだけ多く足を運んでいただき、協力を得るようにしたい。	利用者が家族の支えも必要としている事を理解していただけるように、面会時やずらん便りで働きかけていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。